



京都 S K Y 大学同窓研修会会誌

ざんぐり



2月28日「ようこそ早春の植物園へ」 カラスザンショウの猿

・ 会長挨拶	2	・ 令和7年度予算	9
・ 令和6年度役員・SKY大学運営員紹介	3	・ ミニ講座植物園報告	10
・ 令和6年度事業報告	4	・ 健康トライアルウォーキング報告	11
・ 令和6年度業務報告	5	・ 総会講演会報告	12
・ 令和6年度決算報告	6	・ 特別講演会のご案内	13
・ 令和7年度事業計画	7	・ Small talk room	14
・ 令和7年度業務計画	8	・ Small talk room 投稿のご案内	15
		・ 事務局便り	16



ご あ い さ つ

会長 井上 昌幸



京都SKY大学
同窓研修会の皆
様には、平素から、
会の運営や活動
に多くのご支援・
ご協力を賜り、役

員一同、心よりお礼を申し上げます。

去る4月25日に開催致しました令和
7年度通常総会には、多くの皆様にご
出席を頂き、全議案につきご賛同、ご承
認を賜り、滞りなく終了することが出来
ました。厚くお礼を申し上げます。

当日の総会におきまして、引き続き会
長を担当させて頂くことになりました。
甚だ微力ではございますが、精一杯の
努力を致す積りでございます。3 人の
新理事を含む役員の方々と力を合わ
せて、当会の発展に尽力致しますので、
引き続き温かいご支援・ご協力を賜り
ますよう、心よりお願い申し上げます。

新型コロナウイルス禍の影響が薄れ、
昨年度は多くの皆様に、各種行事に参
加して頂くことができました。特に、「生
物多様性に学ぶ」と題して、京都府立
植物園・京都市動物園・京都市青少年
科学センター・京都水族館で、現地体
験型の講座を企画・開催して、多くの方
に参加して頂きました。大徳寺の塔頭
での作務とお茶会も好評でした。

その他の行事も計画通りに実施する
ことができたのも、会員の皆様のご協
力のお陰と、役員一同、感謝申し上げ
ます。また、年4回発行の会報「ざんぐり」
のカラー化を図ったことで、各種行事へ
の会員の関心が深まり、参加者増に繋
がったと考えています。より一層、きめ
細かな情報発信に努めてまいります。

昨年度の実績を踏まえて、会員皆様
の旺盛な好奇心を満たす各種行事、具
体的にはミニ講座、バス研修旅行、健
康福祉活動、地域活動など、を充実さ
せてまいります。ご期待ください。

重症化リスクの高い高齢者にとって、
新型コロナウイルス感染症に警戒しな
がら、年初の計画がすべて実現できる
様、役員一同、精一杯務めてまいりま
す。なにとぞ、昨年度にもまして、格別
のご指導・ご支援を賜りますようお願い
申し上げます。就任のご挨拶とさせて
頂きます。



2024 年度事業のスナップショット



令和7年度京都SKY大学同窓研修会 役員名簿

(18名 50音順)

役 職 名	氏 名	担 当
会 長	井上 昌幸	
副 会 長	岩本 照美	事業部 研修講座
	木村 高志	総務部 健康福祉
会 計 理 事	村田 潤子	研修旅行
理 事	伊勢田龍雄	地域活動
	亀山 みさ子	研修旅行
	小島 哲三	研修旅行 広 報
	小林 静枝	健康福祉 広 報
	志垣 幹雄	総 務
	中曾 偉人	健康福祉
	西崎 久美子	地域活動 研修旅行
	西峯 順子	総 務 会員業務
	八田 留美子	総 務 (新任)
	丸山 恭一	研修講座 (新任)
	三尾 恵美	研修旅行 (新任)
	森下 一典	地域活動
	山本 建三	業務部 地域活動
	吉村 辰江	研修講座 会員業務

令和7年度 京都SKYシニア大学 運営員名簿

(計17名 延べ18名)

コ ー ス 名	開催日	氏 名
アクティブシニアライフ	火・午前	木村高志 西崎久美子
歴彩・京都学	火・午後	岩本照美 森下一典 丸山恭一
健康長寿		吉村辰江 中曾偉人 山本健三
スポーツ	水・午後	伊勢田龍雄 亀山みさ子
自然体験	木・1日	西崎久美子 三尾恵美
京都見聞	水・午後	西峯順子 村田潤子 小島哲三 井上昌幸 志垣幹夫 八田留美子



令和6年度事業報告-1

部門	事業内容	参加者
研修講座	① 通常総会講演会 ・令和6年4月26日（金） 会場：ハートピア京都3F 大会議室 「松陰の詩 初三郎の図」 講師：京都府立図書館 副館長 志摩真理氏 主査 永木博美氏 司書 野原隆之介氏	66名
	② 特別講演会（京都SKYセンターとの共催） ・令和6年7月8日（月） 会場：京都テルサホール 「京都で今、心配な自然災害」 講師：人と防災未来センター長・関西大学特別任命教授 河田恵昭氏	231名
	・令和6年9月30日（月） 会場：京都テルサホール 「科学を文化として楽しむ」 講師：JT生命誌研究館館長・京都大学名誉・詩人 永田和宏氏	229名
	・令和6年12月9日（月） 会場：京都テルサホール 「ブラックホールってなんだろう～最新の研究成果から～」 講師：京都大学名誉教授 嶺重慎氏	227名
	・令和7年2月3日（月） 会場：京都文教大学 同唱館 「最も簡単に幸せになる方法」 講師：京都文教学園園長 平岡聡氏	226名
	③ ミニ講座 ・令和6年6月28日（金） 会場：京都府立植物園 「蓮の鑑賞会と園内スタンプラリー」 講師：京都府立植物園課長補佐 山本和喜氏	27名
	・令和6年9月27日（金） 会場：京都市青少年科学館センター 「ふれあいサイエンス2」 講師：京都市青少年科学センター展示係長兼天文係長 中井祥平氏	22名
	・令和6年11月15日（金） 会場：京都市動物園 「ようこそ動物園へ3」 講師：京都市動物園副園長（兼 生き物・学び・研究センター長） 田中正之氏	22名
	・令和7年1月31日（金） 会場：京都水族館 「ようこそ水族館へ」 講師：京都水族館副館長 河崎誠記氏	46名
	・令和7年2月28日（金） 会場：京都府立植物園 「ようこそ早春の植物園へ」 講師：京都府立植物園公認ガイド 青木壽子氏	38名
	（番外講座） ・令和6年11月21日（木） 会場：大徳寺塔頭 玉林院 「大徳寺塔頭『玉林院』を訪ねて・・・」 座禅指導：玉林院住職 玉雲和尚 茶室指導：森雅子先生	22名
	④ 京都見聞・こぼれ話発行 年4回 6月「京のおばんざい」、9月「丸太町通りの変遷」、 12月「高瀬川ってなに」、3月「楼閣とは」	

次ページに続く



令和6年度事業報告ー2

部門	事業内容	参加者
研修旅行 (3回/年)	①令和6年5月27日(月) 名古屋城、リニア鉄道館 再建された名古屋城本丸御殿、歴代の鉄道車両からリニアまでの展示を見学 ②令和6年11月14日(木) 関ヶ原、長浜 戦国時代に終わりを告げた関ヶ原古戦場跡、旧秀吉の城下町長浜市を訪問 ③令和7年1月24日(金) 新春初詣、和歌山方面 日前、國懸神宮での初詣、みるく饅頭月化粧の工場と、中野酒造見学	申込：75名 参加：66名 申込：55名 参加：48名 申込：59名 参加：55名
健康福祉	①ウォーキング ・令和6年4月15日 〔春のウォーキング〕嵯峨野方面 JR嵯峨嵐山駅→大覚寺付近→広沢池→JR嵯峨嵐山駅 ・令和6年10月21日 〔秋のウォーキング〕宇治方面 JR黄檗駅→三室戸寺付近→宇治上神社→宇治橋西詰 ②目標歩数歩こう会 ・第51回 令和6年4月1日～5月31日迄 ・第52回 令和6年10月1日～11月30日迄	20名 15名 8名 12名
地域活動 (2回/年)	①令和6年5月31日(金) 「春季地域活動」 京都市左京区東山界隈での活動 日向大神宮・伊勢神宮遙拝所・琵琶湖疎水(ささやきの道) ・南禅寺水路閣を巡る活動 ②令和6年10月17日(木) 「秋季地域活動」 京都薬科大学日野薬用植物園での活動 生薬の基本植物、染料・香料などの有用植物を観察する活動	18名 38名

令和6年度業務報告

部門	業 務 内 容	人 数
大学業務	1. 同窓研修会会員対象 「企画・運営員による企画及び運営」 京都見聞コース(座学1回、現地研修16回) ・5月見聞セミナー「仏像の話」 小嶋一郎 先生 ・5月黄檗山万福寺 ・6月コース会・聖護院御殿荘 ・6月勝林院 ・7月天龍寺 ・7月醍醐寺 ・7月泉涌寺、雲龍院 ・9月松尾大社 ・10月石清水八幡宮 ・10月下鴨神社 ・11月バス研修・出雲大神宮 ・11月鞍馬寺 ・12月和菓子作り甘春堂 ・1月智積院 ・1月御室仁和寺 ・2月大徳寺、大仙院 ・2月京料理、山ばな平八茶屋	企画・運営員 6名 令和6年度修了者 74名
	2. 一般対象 「運営員による、運営協力」 ①歴彩・京都学コース ②アクティブシニアライフコース ③スポーツコース ④スマホコミュニティコース ⑤自然体験コース ⑥健康長寿コース	運営員 11名 令和6年度修了者 ① 118名 ② 23名 ③ 52名 ④ 71名 ⑤ 42名 ⑥ 121名 合計 437名
会員業務	1. 会員募集 2. 会員の入会・退会管理、会員名簿の作成・管理 3. 会員宛通達文書・連絡文書の発送 4. 会員の懇親・交流	令和6年度会員 342名

令和6年度収支決算報告書

自 令和 6年 4月 1日
至 令和 7年 3月31日
(単位： 円)

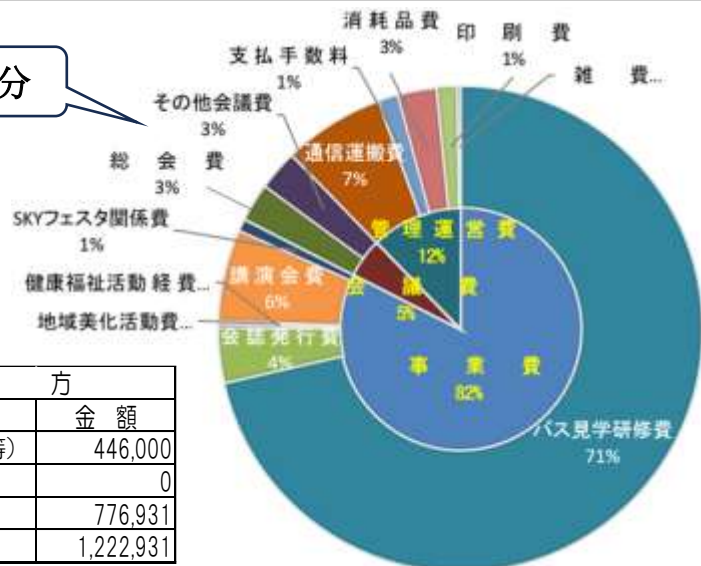
<収入の部>

科 目	予 算 額 (A)	実 績 額 (B)	対予算残 (B-A)	摘 要
会 費 収 入	720,000	684,000	-36,000	会費 2,000円
事業負担金収入	1,500,000	2,181,300	681,300	バス見学研修旅参加費、その他行事参加費
雑 収 入	0	400	400	普通預金利息
前年度繰越金	564,727	564,727	0	
収 入 合 計	2,784,727	3,430,427	645,700	

<支出の部>

科 目	予 算 額 (A)	実 績 額 (B)	対予算残 (B-A)	摘 要
事 業 費	1,760,000	2,188,338	428,338	
バス見学研修費	1,500,000	1,895,689	395,689	バス研修旅行費用 3回
会 誌 発 行 費	160,000	96,930	-63,070	会誌「ざんぐり」発行費用 4回
健康福祉活動経費	10,000	7,000	-3,000	活動経費 2回
地域美化活動費	10,000	5,851	-4,149	活動経費 2回
講 演 会 費	60,000	161,536	101,536	セミナー開催経費 6回
SKYフェスタ関係費	20,000	21,332	1,332	SKYフェスタ出展経費
会 議 費	200,000	140,036	-59,964	
総 会 費	100,000	68,186	-31,814	会場費、総会出欠返信用はがき、講師謝礼、
その他会議費	100,000	71,850	-28,150	理事会会議室使用料、福祉行事保険料
管 理 運 営 費	330,000	325,122	-4,878	
通 信 運 搬 費	150,000	178,219	28,219	会誌・行事案内等発送費、郵便代
支 払 手 数 料	50,000	36,355	-13,645	郵便振替払込手数料(会費)
消 耗 品 費	40,000	68,645	28,645	発送用封筒、会旗
印 刷 費	60,000	35,903	-24,097	印刷機・コピー機使用料
雑 費	10,000	6,000	-4,000	会計監査会場費等
予 備 費	20,000	0	-20,000	
支 出 合 計	2,290,000	2,653,496	363,496	
次年度繰越金	494,727	776,931		

令和6年度支出配分



貸借対照表

借 方	金 額	貸 方	金 額
勘定科目		勘定科目	
普通預金	1,131,947	仮受金(次年度会費等)	446,000
郵便貯金	90,984	積立金	0
定期貯金	0	繰越金	776,931
合 計	1,222,931	合 計	1,222,931



令和 7 年度事業計画

部門	事業内容
研修講座	①令和7年4月25日（金） 演題： 「ある禅寺の日常 大徳寺納豆作りも大切な修行」 講師： 大徳寺塔頭 瑞峯院 住職 前田 継道 氏 会場：ハートピア京都3F 大会議室 ②京都SKYセンターとの共催講演会(SKY大学特別講座に参加) ③講演会 ミニ講座予定 京都府立植物園 京都市動物園 京都市青少年科学センター 京都水族館 上記4館連携の講座を実施の予定 6月発行の「ざんぐり」で案内書の送付予定 「お茶と宇治の製茶、宇治市内の茶業施設を訪ねて」 6月実施予定 ④こぼれ話 年4回（6月 9月 12月 3月）発行予定
研修旅行 (3回/年)	多くの会員の皆さんにご参加いただけるよう、行く先、実施内容等を吟味してそれぞれ提案させていただきます。 ①令和7年5月 但馬、出石方面 ②令和7年11月 9月発行「ざんぐり」で案内書送付 ③令和8年1月 12月発行「ざんぐり」で案内書送付
健康福祉	①ウォーキング ・令和7年4月14日 〔春のウォーキング〕 京都洛西竹林方面計画 ・令和7年10月 〔秋のウォーキング〕 計画中 ②目標歩数歩こう会 ・第53回 令和7年4月1日～5月31日迄 ・第54回 令和7年10月1日～11月30日迄
地域活動 (2回/年)	①令和7年5月23日（金） 「春季地域活動」 大山崎、観音寺、宝積寺を散策 ②令和7年11月実施予定 「秋季地域活動」 活動場所・日程選定中



令和 7 年度業務計画

部門	業 務 内 容	人 数
大学業務	1. 同窓研修会会員対象 「企画・運営員による企画及び運営」 ①京都見聞コース（座学1回、現地研修16回） ・見聞セミナー（ハートピア京都にて座学） ・黄檗山万福寺 ・勝林院、三千院 ・南禅寺 ・醍醐寺 ・泉涌寺、雲龍院 ・石清水八幡宮 ・下鴨神社 ・鞍馬寺 ・智積院 ・御室仁和寺 ・大徳寺、大仙院 ・京都市内の寺社（交渉中） ・バス研修旅行・京都府南部社寺 ・コース会（懇親会）聖護院御殿荘 ・和菓子作り体験甘春堂 ・京料理賞味体験	企画・運営員 6名 令和7年度受講予定数 80名
	2. 一般対象 「運営員による、運営協力」 ①歴彩・京都学コース ②アクティブシニアライフコース ③スポーツコース ④自然体験コース ⑤健康長寿コース	運営員 11名 令和7年度受講予定数 ① 150名 ② 40名 ③ 50名 ④ 40名 ⑤ 150名 合計 430名
会員業務	1. 会員募集 2. 会員の入会・退会管理、会員名簿の作成・管理 3. 会員宛通達文書・連絡文書の発送 4. 会員の懇親・交流	令和7年度会員 目標 360名

京 都 見 聞 コ ー ス



令和 7 年度収支予算

自 令和 7年 4月 1日

至 令和 8年 3月31日

<収入の部>

(単位： 円)

科 目	前年度予算	前年度実績	今年度予算	摘 要
会 費 収 入	720,000	684,000	720,000	令和7年度会費
事業負担金収入	1,500,000	2,181,300	1,800,000	バス見学研修旅行参加費 年3回
雑 収 入	0	400	0	普通預金利息
前年度繰越金	564,727	564,727	776,931	
収 入 合 計	2,784,727	3,430,427	3,296,931	

<支出の部>

科 目	前年度予算	前年度実績	今年度予算	摘 要
事 業 費	1,760,000	2,188,338	2,060,000	
バス見学研修費	1,500,000	1,895,689	1,800,000	バス研修旅行費用 年3回
会 誌 発 行 費	160,000	96,930	120,000	会誌「ざんぐり」発行費用 年4回
健康福祉活動経費	10,000	7,000	15,000	活動経費等
地域美化活動費	10,000	5,851	15,000	活動経費等
講 演 会 費	60,000	161,536	80,000	同窓研講座、セミナー等
SKYフェスタ関係費	20,000	21,332	30,000	SKYフェスタ出展経費
会 議 費	200,000	140,036	200,000	
総 会 費	100,000	68,186	100,000	会場費、総会出欠返信用はがき、講師謝礼
その他会議費	100,000	71,850	100,000	理事会等会議室使用料、福祉行事保険料
管 理 運 営 費	330,000	325,122	370,000	
通 信 運 搬 費	150,000	178,219	200,000	会誌・行事案内等発送費、郵便代
支 払 手 数 料	50,000	36,355	50,000	郵便振替払込手数料（会費）
消 耗 品 費	40,000	68,645	40,000	発送用封筒、宛名ラベル、事務用品等
印 刷 費	60,000	35,903	50,000	印刷機・コピー機使用料
雑 費	10,000	6,000	10,000	会計監査会場費等
予 備 費	20,000	0	20,000	
支 出 合 計	2,290,000	2,653,496	2,630,000	

次年度繰越金	494,727	776,931	666,931	
--------	---------	---------	---------	--





ようこそ早春の植物園へ

～早春賦を奏でながら～ 岩本照美



実施日：2025年2月28日（金）

参加人数：35名

- 生物多様性って何？ 言葉への関心事……
ミニ講座の発端はここから始まった。
- 京都市内にある生物や科学にかかわる施設が連携を図り、生物多様性に触れる取り組みを実施されたことに感化され、2年前にシニアの講座にとりいれることとなった。うれしいことに各施設がシニアにも門戸を開いてくださり、青少年科学センターでの画期的なシニア対象の講座が開かれることにもなった。
- この取り組みは、今回の京都府立植物園公認ガイドの青木壽子氏の園内ガイドがスタートだった。2年かけて各施設で複数回開催し、4館を巡回し、今回、「早春賦を奏でながら」の副題で、スタートの場所において開催できたことは、とても感慨深く、過去に開催したミニ講座の思い出が一気によみがえってきた。
- さて、今回は、「早春の植物」をテーマに取り組むのだが、花の開花には、早いと思い、戸惑いの気持ちがあった。思いだしたのは、「寒い季節、静かにたたずむ木々も生き動いているのだよ」と教えていただいたこと。木々の生命力は、日一日休むことなく営まれていることを感じていただき、生命力あふれる木々が人の営みの中でどのように存在しているのか知っていただく機会にしようかと思い開催することになった。
- 丁寧な下調べの中で、繰り広げられる、植物の不思議・医学との関係のある植物、外界の刺激で突然変異を起こす植物、生命維持のために多彩な機能を持ち合わせている植物、寒い冬を生き抜くためにエネルギー消費を防ぎ冬越しする植物、木の芽を見ると不思議な動物の顔に見えてしまう・冬を越すための植物の知恵袋が様々な木々の姿から見えてきた。
- 自然界の中で、何十年、何百年、何千年、何万年と子々孫々、生き抜いてきた植物たちに私たちは、畏敬の念をもって寄り添うことが大事と、エネルギーに解説してくださる言葉に触れながら改めて痛感することになった。
- 私は、生物多様性の講演を初めて聞いたとき、郷里のお正月の行事ごとが頭に浮かんできた。
郷里では、正月の床の間の飾りに「松」とクロモジに餅をつけた「餅花」を飾る風習がある。松とクロモジは、

里の山からいただく。新雪の積もる山道を歩き、雪の中の赤い冬イチゴを食べながら、父が藪の中にある松とクロモジを抱えて降りてくるのを待つのである。餅つきの日には、クロモジの香りとともにつきたての白餅の香りが爽やかで、床の間に飾ると神々しい正月飾りになったのを覚えている。松とクロモジ、つきたてのもちの香りが、まだ、私の鼻先に残り、クロモジの香りをかぐと思いがよみがえってくる。私は、壮大な生物多様性とは別に日常の営みの中で自然に行われていたことが、生物多様性に結び付くのではと単純に解釈したのである。

- 今回で、4館を巡り、生物多様性をどのように解釈していただきたらう。様々な感性の中で、受けてとめていただいているのではと思う。
- 今回の講座の内容は、参加された皆様の心の中に刻まれ、残るものと思い、あえて、報告内容に記述をしないこととした。
- 下記に観察した植物を紹介し、ひとつひとつ、思い起こしながら、ミニ講座内容を心のノートに収めていただきたいと思います。
- 最後に幾度も下見をしながら、様々な発見をしていただき、生物多様性に触れながら、充実した内容でメッセージを送っていただいた青木壽子様へ心よりお礼を申し上げます。



- 観察した植物の名前
ヤナギ(葉) タムシバ タケ(生長点) 侘助(F1)
サイカチ(石鹼) バクチノキ(樹皮) カンツバキ
カラスサンショウ(木の芽) カツラ(香り) 獅子頭椿
オニグルミ(維管束) ヒマラヤシーダ(雌雄の違い)
マンサク ヒイラギナンテン 西洋水仙(ナルシスト)
ウツクシマツ(滋賀 天然記念物) シロマツ(中国)
セツブンソウ フクジュソウ ボンテン椿(突然変異)



前夜はかなり強い風雨。当日早朝、雨は残っていたが、出掛けるころには青空。

9時30分ギリギリに、阪急洛西口に到着。近くの広場で軽くストレッチをして、少し早足で出発した。

住宅街の間のゆるい坂道を登っていくと、正面に、白鳳時代に創建され、平安時代中期に廃絶したとされる「檜原廃寺跡」史跡公園が見えてくる。八角形の瓦積基壇が、住宅街に残っているのが、何とも不思議。ここだけが異空間。公園奥に2本の桜が。花びらが風に散っている。ここで記念写真。



散り初める桜を背景に

次に、右手に竹林を見て進むも、えっ、墓地への参道？少し引き返して、古色蒼然とした団地の間を抜けて、大きな屋敷のある住宅地の間の小さな公園へ。かなり見晴らしが良く遠く左手に京都タワーが見える。

京都タワー発見！



いよいよ竹林道へ。さわやかな風が、竹林を抜けて、通りすぎていく。充分練習を終えたウグイスが、素敵な鳴き声をきかせてくれる。筍を採る為にきれいに整備された竹畑の道を上っていく。



さわやかな笹鳴りの竹林を抜ける

最後の休憩地「子どもの広場」に到着。トイレ休憩の後、再び出発する。急な下り坂が続く、膝にこたえる。遠くまで開かれた畑地に出て、その間を歩く。時々、突風が吹き抜ける。

駅近くまで来ると、今度は何処までも更地が続く。対照的に、駅をはさんだ向こう側はマンションが立ち並び、何年後かには、こちら側にも同じような景色が見られるだろう。

定刻通り、12時少し前に洛西口に到着する。解散！

心地良い、春の息吹を感じた1日でした。お世話係の皆さん、ありがとうございました。今夜、又雨が降っています。



洛西口から一回り

実施日：2025年4月25日(金)

講師：大徳寺 塔頭 瑞峯院

住職 前田 継道 氏

参加人数：50名

大徳寺塔頭 瑞峯院の沿革

室町時代の九州豊前豊後の領主で、キリシタン大名として有名な大友宗麟公が大徳寺開山大燈国師から法系第九十一徹岫宗九禅師に帰依し、禅師を開祖として創建された寺です。

まずは、日常の寺の生活
の中で営まれる作務について、一日の時間の流れの中で
話していただく。



行事ごとのない日々は、決まった時間 5:30 に起床し、朝のお勤めをし、炭をおこしてお茶を沸かす。一日の打ち合わせを終えて、庭掃除、お昼をいただき、夕方の清掃、夕食後は、寺の事務などをして、日付が変わるまでに就寝する。日々、繰り返しの中で、淡々と生活をするが、その生活の中に様々な作務といわれる禅の修行が行われていると感じながら聞かせていただいた。

講演後に話の内容を振り返りながら思考をめぐらしていたのだが、規則正しく行われる生活の中で、四季の変化や様々な事象の変化を体感する繊細な感性が、体の中に宿るのではないかと思われた。また、ある知人の言ったことを思い出し、「日々、同じことを繰り返し行えることを幸せだと思わなければ」という忘れかけた言葉が久方ぶりに蘇ってきた。

次にわたしたち、シニアに向けてのメッセージかと思われるよく聞かれる出来事の話をした。

よく耳にする話であるが、老後の過ごし方についての話があった。檀家周りをすると、夫婦の日々の過ごし方についての、特に夫の日々の過ごし方について奥様から不満が出る。第二の人生をどのように過ごすのか？平均寿命が延びている中、残りの人生を楽しむことを考えてほしいと思っている。同じ趣味を持つのはどうか？共通の話題を作るための方法を考えてほしいと、メッセージを込めての話だったが、SKY 同窓研会員の皆さんには、どのように響いたのだろうか。

少し、ふりかえてみてもよいのではと思えるような耳の痛いメッセージではあった。

寺事情、寺の修行も様々

寺の日常は、ルーティンを決めて過ごすことが必要と思われる。健康的な生活リズムを考える。仏さまとの生活であるが、仏さまは、ほめないし怒らない。ゆえに自分自身で折り合をいつけるしかない。生活を組み立てるのは自分自身である。定年がないので、生涯、生活を組み立てることが必要である。

寺によっては、修行道場のように日々座禅をし、修行に励む僧もおられる。また、一休禅師が開祖である真珠庵では、一休禅師の遺徳をしのび、一休禅師の過ごし方を継承し、黒衣しか着ず、行事では、末席に座することに徹している。

大徳寺納豆とは

中国から持ち帰った豆鼓(トウチ)という調味料を一休禅師が京都の気候風土に合わせて納豆にしたものである。納豆作りは祇園祭のころから始まる。大豆を水で炊き、大麦を炒った、はったい粉をまぶして「もろふた」で発酵させ、夏の日照りの中、乾燥を繰り返し仕上げる。瑞峯院では、先代の和尚が一休宗純を開祖として創建された真珠庵に小僧として入り、納豆作りを教授され、同じ作り方で作っている。分量は、大豆が80kg、はったい粉60kg、塩25kg、を使用する。瑞峯院では、お茶席用にするため、半生の状態でしっとりさせる。カビ生えないようにし1年分を作る。大徳寺納豆を作っているのは、5、6カ寺である。おかゆに入れたり、田楽味噌の材料として使い、また、趣向を凝らして、中華やパスタ等に使われている。

瑞峯院の魅力

瑞峯院は、かなり傷みが激しい建物であったが、明治時代に檀家制度ができ、解体修理復興し、現在に至っている。方丈前の枯山水は、蓬萊山庭園とし、東福寺の方丈庭園作の重森三玲が、昭和30年豪快な大自然の活動を再現している。

講演後、深々と頭を下げて帰られた姿に和尚様の心の中を見るようで清々しい気持ちになりました。講演を受けてくださり感謝申し上げます。



静けさのなかに
「独坐庭」
作庭 重森三玲



特別講演会のご案内

またトラの世界

日 時：2025年6月30日（月）
14時30分～16時
場 所：京都テルサホール
講 師：同志社大学教授
村田 晃 嗣 氏



南海トラフ巨大地震が

発生する確率は？

日 時：2025年9月8日（月）
14時30分～16時
場 所：京都テルサホール
講 師：京都大学防災研究所付属
地震災害研究センター教授
西村 卓也 氏



特別講演会への参加申込方法

京都 SKY シニア大学の各コースを受講されている同窓研修会会員の方は、申し込みの必要はありません。大学を受講されていない会員の方は下記の要項で申し込んで下さい。

【申込期限】6月30日の講演会は6月15日迄
9月8日の講演会は8月20日迄
往復はがき又は、ショートメールで申し込んで下さい。

【記載内容】**往復はがき**：参加ご希望の特別講演会名を一つ又は両方を、氏名・住所(返信用宛名にも)・電話番号を明記し下記宛にお送り下さい。
〒604-0874 京都市中京区烏丸通丸太町下ル ハートピア京都2階
(財)京都 SKY センター内 京都 SKY 大学同窓研修会
ショートメール：参加ご希望の特別講演会名を一つ又は両方、氏名を記入し下記問合せ先宛送信してください。

【問合せ先】**岩本照美** TEL090-2285-2265(ショートメールでの申込はこちら)

【注意事項】同窓研の会員は同窓研に直接申し込んで下さい、無料です。
往復はがきでお申込みの方は、**返信ハガキ**をお持ちください。
ショートメールでお申込みの方は、**返信メール**をご確認ください。

！ SKY センターへの申込は、同窓研の会員以外の扱いになり有料となります。



日本に釈迦の真仏骨が有る！ 覚王山日泰寺 文 Chang-Y

皆さん日本にお釈迦様の本物の仏骨が祀られてるのをご存知ですか、

“あちらこちらのお寺に有るじゃん！”、
イヤイヤ本物は名古屋千種区の“覚王山日泰寺”にしか有りません！



仏骨を祀る日泰寺奉安塔

全国で仏骨として祀られているのは、その寺の開祖や高名な住職のお骨や爪などをお祀りしてるのが殆んどです。

日泰寺に有る御真骨は明治の頃英領インドで発見されインド政府から時のタイ王国



チュラロンコン大王像

チュラロンコン大王（ラマ5世）に贈られタイのワットサケットに祀られ、一部がセイロン（現スリランカ）、ビルマ（現ミャンマー）に分骨されたのを、当時のタイ駐在日本大使がラマ5世に懇願し、日本の主要寺院

の住職達を引き連れて分骨して頂き、国内に持ち帰り一時京都の妙法寺に仮安置された後、仏教13宗56派の管長達の喧々諤々の誘致合戦の末に、広大な敷地を提供した名古屋が勝利し日本仏教会全体の寺院として、何れの宗派にも属さない大寺院として創設されました。

現在も19宗派の代表が3年交替の輪番で管主に携ってる日本唯一の全仏教寺院です。



境内

広々とした境内には仏舎利の安置されている奉安塔、プミポン国王（ラマ9世）より下賜されたタイ国宝の金銅釈迦如来仏像が有る本堂、



本堂



タイ王国王族
参拝記念碑

五重塔、山門、鐘楼、舎利殿、僧堂、ラマ5世の銅像、多くのタイ王族の参拝記念碑等有る。一度は参っても損の無い寺です。

最寄駅は名古屋地下鉄東山線覚王山駅近く広い駐車場（無料）もあります。

ランチには、きしめん、味噌カツ、お土産に、坂角海老せんべいは如何でしょうか。





「釈尊」の实在が立証される。19 世紀東洋史上の一大発見

1898 年(明治 31 年)1月、ネパールの南境に近い英領インドの**ピプラーワー**というところで、イギリスの駐在官ウィリアム・ペップが古墳の発掘作業中ひとつの人骨を納めた蠟石の壺を発見した。

その壺には西暦紀元前3世紀頃の古代文字が側面に刻みこまれており、それを解読したところ「この世尊なる佛陀の舍利瓶は釈迦族が兄弟姉妹妻子とともに信の心をもって安置したてまつるものである」と記されてあった。これは原始佛典に、「釈尊」が死去した後、遺体を火葬に付し、遺骨を八つに分けてお祀りし、その中釈迦族の人々もその一部を得てカピラヴァツに安置したとある記載が事実であったことを証明するものである。

当時 19 世紀の西欧の学者の間では、佛教の教祖である「釈尊」なる人物はこの地上に実在したものではあるまいという見方が一般的であって、一部の学者にいたっては釈尊信仰を太陽神話の一形式であるとの見方をしていたほどである。そうした状況がこの発掘によって一変し、「釈尊」の实在が立証され、まことに 19 世紀東洋史上の一大発見となった。



ピプラーワー出土仏舍利骨壺

ピプラーワーのストゥーパから発掘されたお釈迦さまのご遺骨を納めた骨壺。

高さ 15cm。

壺の上部に文字が刻まれているのが見える。インド博物館所蔵、1998 年撮影。

Chang-Y さま

日々、「南無阿弥陀仏」と唱えながら、「釈尊」の实在についてはあまり実感がありませんでした。とてもとても貴重なお話を有難うございます。一度、是非おまいりしたいものです
きしめん、味噌カツ、煮込みうどん、天むすなどなど、魅力的な名物もー。



原稿送付ご案内

メール：skydosoken@gmail.com まで

Word・Excel・写真類は JPG 形式で

郵 送：〒604-0874 京都市中京区烏丸通丸太町下ル

ハートピア京都2階 京都SKYセンター内

京都SKY大学同窓研修会「ざんぐり」編集係宛

-  原稿に関連した写真も添えて下さい。
-  メール、郵送とも、お名前、連絡先（ 番号）を明記ください
-  匿名を希望される方は、その旨明記ください
-  投稿は同窓研修会会員限定とさせていただきます。
-  投稿多数の場合は編集担当による選考となります。
-  お送りいただいた原稿の返却は致しかねますのでご了承下さい。



行事予定・ほか



*ミニ講座

- ・開催日時
- ・会場
- ・テーマ

* 詳細は同封しました別紙を参照して下さい。
2025年6月27日(金) 11時30分～
お茶と宇治のまち交流館「茶づな」
(宇治市：京阪電車宇治駅 徒歩4分)
抹茶づくり体験

*特別講演会(1)

- ・開催日時
- ・会場
- ・テーマ
- ・講師

* 詳細は本文13ページを参照して下さい。
2025年6月30日(月) 14時30分～
京都テルサホール(京都市南区)
「またトラの世界」
同志社大学教授 村田 晃嗣 先生

*特別講演会(2)

- ・開催日時
- ・会場
- ・テーマ
- ・講師

* 詳細は本文13ページを参照して下さい。
2025年9月8日(月) 14時30分～
京都テルサホール(京都市南区)
「南海トラフ巨大地震が発生する確率は？」
京都大学防災研究所附属
地震災害研究センター教授 西村 卓也 先生

*京都見聞・こぼれ話

第16号 「丸太町通りから堀川通りへと」 をお届けします

発行 / 京都SKY大学同窓研修会

編集 / ざんぐり編集委員会

☎604-0874 京都市中京区烏丸通丸太町下ル ハートピア京都2階

公益財団法人 京都SKYセンター内 ☎075(241)0226 FAX 075(241)0204

